

報 道 資 料

平成21年7月14日（火）

件 名 岩国基地に関する協議会（第2回）の開催について

概 要 このことについて、下記のとおり開催いたしましたのでお知らせします。
記

1 日 時 平成21年7月14日（火）14：00～16：10

2 場 所 岩国市役所 議会会議室

3 主な出席者

岩国市：岩国市長	福田 良彦（ふくだ よしひこ）
岩国副市長	大伴 國泰（おおとも くにやす）
基地対策担当部長	松林 達也（まつばやし たつや）
国：中国四国防衛局長	中村 範明（なかむら のりあき）
中国四国防衛局企画部長	松本 俊彦（まつもと としひこ）
山口県：総務部理事	藤部 秀則（ふじべ ひでのり）

4 概要

（1）第1回協議会確認事項の取り組み状況

ア 街頭緊急通報システム（通称：ｽ-ﾊﾟ-防犯灯）の設置

基地正門付近から川下出張所区間に7基設置する

平.21.7. 設計業務契約

平.21.11. 工事発注予定（工期～平.22.3.）

イ 住宅防音工事の未実施世帯への対応

平.21.3. 第一種区域内の約15,900世帯へ「お知らせペーパー」配布

平.21.6.現在 申込世帯数：約2000世帯（内、「お知らせペーパー」による
申込約500世帯）（復旧工事含む）

平.21.3.～ 未実施住宅の建築年度等確認作業実施中

未実施住宅が確定した後、意向確認予定

ウ 騒音測定器の設置場所等

騒音測定器の設置について、平.21.3.装束町及び青木町の2か所への設置完了

エ 苦情等の受付

平.21.4. 岩国市の苦情専用電話の設置完了。

平.21.3. 岩国市広報に中国四国防衛局、岩国防衛事務所及び岩国市の連絡先を掲載。引き続き、随時掲載し、周知に努める。

（2）協議事項

ア セーフティブリーフィング

- ・ 昨年に引き続き、中国四国防衛局長等による、米軍人等への説明を実施。

- ・ 加えて、今年は岩国市長も参加し、岩国市の状況等について説明を実施できるよう、今後、米軍と調整を行う。

イ 共同防犯パトロール

- ・ 市内の繁華街を中国四国防衛局長、岩国市長及び山口県岩国県民局長が合同で巡視する。

- ・ 加えて、岩国基地司令官の参加を要請する。

ウ 騒音苦情の公表

- ・ 岩国市と同様に、中国四国防衛局に寄せられた騒音苦情等の状況をホームページ上で公表し、岩国市ホームページとの相互リンクを構築。

エ 日米親善交流事業

- ・ 日米親善交流事業の発展のため、米軍が主催するプログラムについて、中国四国防衛局と岩国市は積極的に広報する。

- ・ 中国四国防衛局が開催を検討している日米親善交流事業について、岩国市及

び山口県も協力する。

- ・ 市民レベルでの日米親善交流が図られるよう、岩国市は市内のイベント等について適時情報提供を行う。

オ 航空機の運用に関する事項

- ・ 市は、騒音対策として、飛行時間の短縮等の運用改善（夜間・早朝、土曜日、日曜日、祝日、盆及び年末・年始における飛行とエンジンテストの全面的禁止）を要望しており、こうした状況を踏まえ、飛行実態の把握のため、中国四国防衛局から、すでに公表されている月別・日別での騒音発生状況に加え、新たに時間帯別騒音発生状況の情報提供を受けることとなった。
- ・ また、改めて、岩国日米協議会での確認事項の遵守を米側に求めるよう、中国四国防衛局に対し要請を行い、中国四国防衛局から、「機会あるごとに米側に申し入れて参りたい。」旨の回答があった。

カ 住宅防音の拡大

- ・ 住宅防音工事の対象区域の拡大を中国四国防衛局へ強く要請した。
- ・ 中国四国防衛局は、現行の住宅防音事業について、航空機騒音に係る重点施策として、現下の国の厳しい財政事情の下、更なる促進に努力する。
そのため、国は、平成21年度補正予算において、新たに8億6千万円の予算を確保し、平成21年度の総額として約29億円（平成20年度からの繰越分約9億円を含む）となった。

キ 航空機騒音の測定監視体制の充実

- ・ 前回協議会での岩国市の要望（騒音測定器の増設1か所）に対し、国から設置に向け前向きな回答を得た。

(3) SPI（特別機動警察隊）による警備活動状況報告

ア 体制

今年4月1日から、岩国警察署の署長直轄隊として、隊長（地域第一課長・警部）以下、地域課、刑事課及び交通課等から選定した英語が堪能な若手警察官10人で編成

イ 活動概要

基地関係者の参加が予想されるイベント（錦帯橋まつり、フレンドシップデー等）や主として基地関係者が集う市内の繁華街・観光地において、パトロールや事故防止等の指導を行った。

(4) その他

- ・ 米軍岩国基地内の新型インフルエンザ対策について
- ・ 恒常的な空母艦載機離発着訓練施設の選定状況等について
- ・ 消火訓練について

5 市長コメント

今回は、安心・安全対策の中でも市民の大きな関心事である、航空機の運用や住宅防音工事の対象区域の拡大に関する事項についての議論も行った。こうした課題については、今後も継続して国としっかり議論し、地元の実情に即した対応がなされるよう努力したい。

なお、前回協議会での岩国市の要望事項である騒音測定器の更なる増設1か所に対し、国から設置に向け前向きな回答を得たことで、航空機騒音の実態把握のための監視体制が整うものと考えている。

また、治安対策の一環として、私が自ら基地に赴き、直接、米軍関係者に対し、地元の状況を説明するとともに、市内の繁華街において防犯パトロールも実施するなどの取組みを積極的に行いたいと考えている。

今後とも、引き続き、市民の安心・安全の確保に全力を傾注し、多くの市民に納得のいくような結果を出すべく努力してまいる所存である。